

教材教具および題材	学部	授業名 (主たる教科領域)	執筆者
シーサー	高	美術 1年 I G (美術)	大庭知子

<ねらい>

- ・手順を覚えて丁寧に取り組む
- ・自分のオリジナルのシーサーを作る

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

作成方法

- ①粘土をたたんで均等にのばす
- ②丸めた新聞紙を芯にして粘土を筒状にし、胴体部分を作る。
- ③脚を作り、胴体に接着する。
- ④中に新聞紙を入れ、粘土で頭を作る。
- ⑤口、目、鼻、耳、たてがみなどを作る。

<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

- ・絵の苦手な生徒も粘土の製作はいきいきと取り組んでいた。
- ・自分の好きな形に顔のパーツを作ったことで、できあがりへの愛着がわいてきたようだった。
- ・当初1体のみと考えていたが、生徒たちの希望により2体目も製作した。

<その他(材料、費用、購入先等)>

材料

陶芸用粘土(一人あたり2体で2kg程度使用)

費用

陶芸用粘土20kgで1400円程度

